

古代のアクセサリー

古代の人々が身に着けていたものと聞かれると、次のような玉をイメージする方が多いのではないのでしょうか。アルファベットのCに近い形をしていて、ヒモを通すための穴があけられたこの石は「勾玉（まがたま）」と呼ばれています。写真の勾玉はストーンサークルがある鷺ノ木遺跡から出土したものです。

なぜこのような形をしているのかたくさん議論されていますが、動物の牙や胎児、月を模した形など様々な意見があり、いまだに明らかになっていません。



勾玉（まがたま）



穴があいたヒグマの骨



穴のあいた石と耳飾りの欠片

森町の遺跡では、勾玉のほかに綺麗な色の石に穴をあけたものや切れ目のある石、ヒグマの骨に穴をあけたものも見つかっており、これらの道具はネックレスやプレスレット、ピアスなどのアクセサリーとして使われていたものと推測されます。

昔の人々がアクセサリーを身につけた理由は解明されていませんが、魔除けの意味が込められていたり、お祭りや儀式などで使われたりしていたのではないかと考えられています。綺麗に着飾りたいと思う気持ちは今も昔も変わらないのかもしれません。

図書館からのお知らせ

本の検索・開館日の情報はこちら ▶▶ <https://www.lib-finder.net/morimati.library/>



雪のおはなし会

令和8年1月11日（日）
午前11時から30分程度※予約優先

絵本の読み手：もりのそらさん

◆オススメの本



『お月さまいつもありがとう』
メリッサ・スチュワート／文
ジェシカ・ラナン／絵
まつむらゆりこ／訳
吉村崇／解説・監修
(福音館書店)



『こども語彙力クイズ366』
高濱正伸／監修
(日本図書センター)

本の福袋

昨年からスタートした大好評の新年企画です。
テーマに沿って選んだ3冊の本を袋に詰め、題名が隠れた状態で本を貸し出す「本の福袋」を用意します。

令和8年1月6日（火）から
児童向け20袋・大人向け20袋
※なくなり次第終了

新しい読書の仕方として、ぜひ皆さんで借りにいらしてください。



『図解紙づけ』
石阪京子／著
(ダイヤモンド社)



『佐伯警部の推理』
佐々木譲／著
(角川春樹事務所)

◆今月の夜間図書館 1月14日（水）・28日（水）
(第2・第4水曜日／午後7時まで)

◆図書館前の駐車場の他、地域活性化広場にも駐車できます
◆問い合わせ先／森町図書館 ☎②5515